

現代社会において、食品ロスが問題となっている。資源の有効活用のためにも、食品ロスの削減は喫緊の課題である。また、食品ロスの問題は食育や環境問題とも深く関わっており、管理栄養士を目指す受験生にとって重要な課題といえる。

食品ロスの現状を読み取り、食品ロス削減に向けた取り組みについて考察できる能力を評価する。

・読み取りのポイント

1) 平成 29 年度 (2017 年度) の食品ロス量は、平成 24 年度 (2012 年度) 以降、最も少ない。

2) 平成 24 年 (2012 年度) 以降、家庭系の食品ロス量よりも、事業系の食品ロス量が多いが、家庭系の食品ロス量も約半数弱 (半分弱の割合) を占める。

3) 事業系食品ロス量の内訳をみると、食品製造業、外食産業が多くの割合を占めている。

4) 食品ロス量の内訳 (家庭系の食品ロス量と事業系の食品ロス量の比率)、事業系食品ロス量の内訳 (食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の比率) をみると、経年的変化はなくほぼ同様の傾向を示す。